

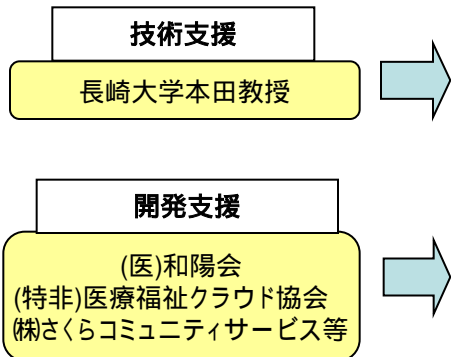
地域	福岡県福岡市	認定日	平成28年2月3日	8 - 27 - 137
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	健康・福祉	

事業名: 高齢者医療の質を向上するテレケアシステムの開発と販売

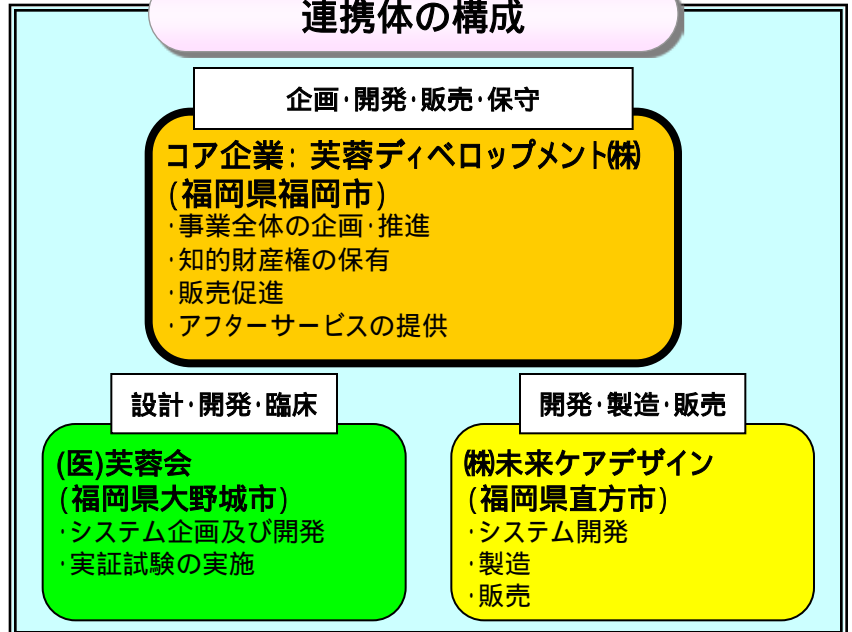
事業概要(新規性、市場性等)

- ・2014年に医療介護総合確保推進法が成立し、医療の大改革が行われた。その結果、介護施設に入居する重症患者が増加しているが、それを支える在宅医療体制は十分ではない。
- ・そこで、コア企業は体温、血圧等のバイタルデータを自動で取り込み、高齢者の健康状態の変化をいち早く検知し、医師が診断しやすい表にグラフ化するテレケア(在宅医療)システムを開発。
- ・本事業では、当該システムを組み込んだ情報機器(商品名「安診ネット」)を販売する。また診断情報などアフターフォローも実施する。
- ・診断記録に基づき医療機関が利用者別に設定を行うことで、医師不在の介護施設でも、入院と同レベルの健康管理と病理判断支援が可能となり、在宅医療の質を均一的かつ飛躍的に向上することができる。
- ・健康診断等の基礎データや問診・観察データと組み合わせで解析する点、バイタルの平均値の出し方を工夫し検知精度を高めた点、3年以上の実証試験による実績を有する点、医学統計学を用い検証し評価する点などが特徴である。
- ・まずは、健康管理に対するニーズがより高いと思われる介護保険施設と、在宅医療を担っている一般診療所に絞って販売を行う。介護保険施設は全国で約1万3千施設、一般診療所は全国で約10万施設あり、これらがターゲットとなる。本事業開始5年後に、売上高2億800万円を目指す。
- ・(株)未来ケアデザインが有するシステム開発力と、(医)芙蓉会が有する実証試験場所及び医療・介護に関する知見と、長崎大学本田教授の医療統計学に係る知見を活用することで、事業化への視野が開けた。

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

補助金
特許料減免



「安診ネット」の使用イメージ